

令和3年2月吉日

関係者各位

むぎのめ子ども発達支援センターりんく

園長 大迫 より子

「児童発達支援自己評価」(保護者向け)の結果について(報告)

梅花の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。さて、当事業所に通園している保護者の皆さまのご協力のもと、保護者による自己評価を過日実施いたしました。

その中のほとんどの項目で、概ね高い評価をいただき、「いつ行くの?と聞いてくるぐらい本人は大好き」「子ども達の笑顔が増え、成長に感謝し大変満足しています」「(子どもへの)ほめ方や声かけなど学ぶことができます」「相談や申し入れに迅速に対応していただいています」等の声を寄せていただきました。

課題となるご意見として、『9:保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会(以下⑨の項目)』『12:保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか(以下⑫の項目)』『15:父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか(以下⑮の項目)』の項目について、「わからない」「どちらともいえない」「いいえ」の回答が多く寄せられました。

⑨の項目についてですが、当園は、認可保育園である「むぎっこ保育園」が隣接しており、日常的に園庭を共有していることで、療育・保育園双方の子ども同士の関りが自然に生まれ、職員間でも子ども同士をつなぐ連携が図られています。また、人形劇の観劇や避難訓練など、新型コロナウイルス感染予防対策に十分留意しながら今年度も実施したところです(母子分離グループ)。年長児においては、保育園への体験交流も行いました。今後も、更に日常の中で交流を持てる機会をつくっていきけるように努めていきたいと思っております。

⑫・⑮の項目については、ペアレントトレーニングに変わる取り組みとして、定期的に保護者を対象とした学習交流会を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模を縮小しグループごとに実施しました。また、親の会活動においても同様の理由で行事の変更や規模の縮小のため例年に比べ、参加の機会が少なくなっていたと考えられます。今後も、保護者の皆さまの要望やご意見を伺いながら、よりよい中身づくりに努めていきたいと思っております。

今回はお忙しい中、自己評価へのご協力ありがとうございました。今後もこれまでと同様、よりよい実践と事業所運営に取り組んでいきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見とご協力をよろしくお願いいたします。

保護者等からの事業所評価の集計結果

【児童発達支援】

公表:令和3年2月 24日

事業所名:むぎのめ子ども発達支援センターりんく

保護者等数(児童数)24家庭 回収数 23 割合 95%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	0	1	0	親子で全員出席の日は密になりやすく、ぶつかりやすい、手の届く所に危険な物もなくスペースも十分です。	今後も子どもたちが安心して思う存分活動できる空間を保障していきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	3	0	1	配置数、足りていないと思います。職員の数も十分で専門的な事もしっかりされている。	児童発達支援センターの基準以上の職員配置は行われています。今後も専門性を高め、子どもの発達支援に従事していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	0	0	1		子どもの生活の導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	2	0	0	ピンクマットが拭いてないのか。また、トイレの座椅子にタオルがなくなり心地よく使えなくなった。	経年劣化が目立ちますが毎日消毒しています。タオルは消毒管理の為、取り除いておきました。周知不足でした。大変申し訳ありませんでした。ご意見を参考に、今後も、子どもたちが心地よく過ごせる環境づくりに努めていきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	22	1	0	0	生活全般の質の向上をさせるための課題が作成されています。	面談やモニタリング等で、保護者からの要望や事業所から見つけた必要なお子さんを専門職につないでいます。今後も、保護者が相談しやすいように努めていきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1	0	1	子どもの特性に合わせ具体的な支援内容が設定されています。	今後も、ひとり一人の子どもの実態に即し、具体的にわかりやすい個別支援計画づくりに努めます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	0	具体的内容、支援を提供していただいています。	今後も児童発達支援管理責任者を中心に、計画に沿った支援がなされているか、確認や検討もしながら取り組みます。
	8 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	18	4	0	0	柔軟に組み合わせて実施されています。	今後も子どもの発達や実態、季節や年齢に即したプログラムの検討をしながら実践を展開していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	4	4	5	ないのではないかと	園庭あそびを一緒にしたり、合同で行事(人形劇)をしたり、年長児は年度末に交流活動を行っています。年に1度は避難訓練を一緒に開催しています。年長児は交流保育に取り組んでいます。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	3	0	1		今後もわかりやすい説明を心がけ、気軽に質問もできるように努めます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22	0	0	1		今後も活動のねらいや意図も含め、わかりやすく説明できるよう努めます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	18	2	1	2	ほめ方や声かけなど学ぶことができています。	例年は、母親、父親への学習会はもちろん、祖父母を対象にした学習会も実施していました。今年度はコロナ感染症対策のため、少人数のクラス別母親学習会の開催になりました。今後も子ども理解や家庭生活が充実できるよう、丁寧に取り組んでいきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	1	0	0	十分に話できる場があり共通理解できています。	細かな変化にも気づけるよう、家庭生活の様子を把握し、また療育での様子も具体的にわかりやすく伝えることを心掛け、共通認識できるように努めています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	0	0	十分に話ができ助言いただいています。	学期に1回の頻度で面談を行っています。また、毎日の生活記録表で育児への不安に対し助言や支援をしています。今後も丁寧に取り組んでいきたいと思っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	2	2	2	コロナで関わりがうすくなったように思います。	親の会と連携しながら楽しく交流したり、共に学び合う場をつくっています。法人の家族会や県父母の会などへ参加できるよう保育を行うなど協力しています。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	1	0	0	相談や申し入れに、迅速に対応していただいています。	登降園時や、電話、来所、連絡帳など、タイムリーに相談につながるよう努めています。今後も迅速かつ丁寧にに対応できるよう努めます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1	0	0	情報伝達の確認がされているのか?子どもの前でできない場面の対応は?	今後もよりよい関係づくり、情報伝達のための配慮に努めていきます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	2	0	3	仕事をしている方は行事の連絡が遅くなり大変に思います。	大きな行事は学期初めにお知らせし、おたよりは前月末までの発行に努めています。今後も、わかりやすく読みやすいお便りの作成や、必要な情報を早めに開示していくように心がけていきます。
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	20	2	0	1	生活記録表の名前記入面が表になり置いたままにしていることが多い。	引き続き、十分注意して取り扱います。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	2	0	1	訓練はないのではないか？	各マニュアルを作成し、掲示しています。全保護者へ周知できるように努めます。今年度は、集中豪雨の送迎訓練は親子で行いました。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	2	1	0	訓練はないのではないか？	法令に従って訓練を実施しています。訓練は毎月子どもと職員では行っており、保護者の方にも知っていただけるように努めています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	0	0	0	「いつ行くの？」と聞いてくるぐらい本人は大好き。「りんくに行くよ」と声をかけると「せんたー」と言い先生に会えるのを楽しみにしている。	これからも子どもたちにとって、安心して自分を出し、楽しくあそびながら成長発達を促せる場となるよう努めていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	21	0	1	0	大満足です。子ども達の笑顔が増え、成長に感謝し大変満足しています。	よりよい「発達支援」「家族支援」「地域支援」を目指していきます。今後りんくに対する意見や要望を出していただけると嬉しいです。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和3年2月吉日

関係者各位

むぎのめ子ども発達支援センターりんく
園長 大迫 より子

「児童発達支援自己評価」(事業所向け)の結果について(報告)

梅花の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。さて、当事業所における「児童発達支援自己評価(事業所向け)」について自己評価を過日実施いたしました。

その中の環境・体制整備、業務改善、適切な支援の提供について等、職員間での情報交換の共有を行い、同じ方向を目指していることを、再度職員全体で確認することができました。

本園の課題として、『2：職員の配置数は適切であるか』の項目において「いいえ」の回答がありました。当事業所において施設の運営基準より多く職員を配置しておりますが、子どもの発達状況によっては、生活面やあそび、コミュニケーションにおいてより丁寧な支援が必要な状況から手薄になる場面があるため、今後は活動によって職員の配置を工夫しながら対応していくことを話し合いました。加えて、これまで通り、ひとりひとりの子どもの発達課題、発達段階に応じた生活とあそびの支援・集団作りについて、研修や実践検討などの学習を重ね、子どもたちひとりにひとりが力を発揮し、主体的に生活やあそびに向かうことができるような療育の中身づくりを目指していきたいと考えています。

また、『19：日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか』の項目において「その日のうちに記録をとることが難しい時がある」と回答がありました。今後、勤務時間内に確実に済ますことができるようなタイムスケジュール管理ができるように努めます。

今後も、様々な意見を聞く中で、職員・保護者(家族)共に理解を深め、子どもたちのよりより成長発達を願い、一步ずつ取り組みをすすめながら事業所づくりをしていきたいと考えておりますので、これからも多くの方のご協力をお願いいたします。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和3年 2月24日

事業所名: むぎのめ子ども発達支援センターりんく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		クラスの部屋の広さは、各クラスの数に対する広さを確保しています。活動内容に応じてプレイルームや園庭等を活用しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		職員数においては、配置基準に従った職員数を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		各クラス、子どもの生活導線に即し、子どもの主体性が促されるような環境設定を大事にしています。室内はバリアフリー(段差無し・手すり)です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		療育終了後、療育室やトイレ、机・椅子、玩具等、療育終了後に毎日清掃・アルコール消毒を行っています。また、感染症対策として、オゾン発生器を各部屋に設置し、こまめな換気も行っていきます。	季節の流行感染症の対策として、トイレなど使用後は毎回必ず消毒するように職員のみならず保護者へも周知することを努めます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		全職員で課題を共有し、業務改善に向けての検討や情報共有に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		ガイドラインアンケートや意見箱、親の会との運営委員会での要望・意見、個別面談等での要望・意見をもとに、業務改善策に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、保護者向けの評価表の意見や運営委員会等での意見も踏まえ、業務改善に向けた話し合いを行っています。また、評価結果を法人のホームページに公表しています。今後も自己評価の取り組みは丁寧に取り組んでいきます。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		法人で定期的に行い、必要に応じて改善につなげています。また、行政指導監査を受け、指摘事項等があった際は、改善に努めています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所内研修や法人研修、外部研修へ参加できるように、年間計画を立てて取り組んでいます。	今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、外部研修についてはオンライン研修へ参加しました。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者や相談支援専門員からの聞き取りや、発達評価等をもとに、アセスメントを行い、分析・検討の上、支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		KIDS、新版K式発達検査2001等、標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画策定会議を実施し、職員間で意見を出し合いながら、一人ひとりの子どもの姿に即した支援を検討しています。支援計画の中に発達支援、家族支援、地域支援の項目を設定し、具体的な支援内容を計画し、作成に努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画に沿って支援を行っています。定期的にモニタリングを行い、支援計画に沿った支援が行われたか、振り返りを行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間、月、週、当日、行事など、担当職員を中心に、チームで療育内容や支援の在り方について検討しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		年間計画や毎月の活動計画において療育内容を検討しており、季節や生活文化、子どもの実態に応じた療育内容の工夫を行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		集団療育の中に個々の課題に応じた支援(個別の活動)を取り入れており、支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		指導案をもとに、当日実践に入る職員間で事前に打ち合わせを行っています。大きな方向性については、前日までに共通理解をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		療育終了後に、各クラスごとにミーティングを行い、振り返りを行っています。参加できない職員については、申し送りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の療育での様子について、毎日記録に残しています。子どもの実態、変化、具体的な支援、今後の課題につながる内容を記録するように心がけています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		支援計画に沿って、保護者と現状を確認し合い、支援の方向性を検討しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本的に児童発達支援管理責任者、主任が出席していますが、ケースによっては担当職員も同席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域のネットワーク会議に参加したり、地域の事業所を対象とした連携会議を開催している。ケースに応じて、個別の連携も図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		併行通園の入園前の体験活動や、連携会議、日常の電話等での実態把握を通して、情報共有、相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		北ネット会議等、各学校との連携会議へ参加し、情報提供、支援の方向性についての相互理解を図っています。また、事前の体験活動や卒園後も必要に応じて訪問、連携会議を実施しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修会や、公開療育などへ積極的に参加し、連携及び学びを深めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		認可保育園が隣接しており、日常的に園庭の共有してのあそびや合同の行事開催など、日常的に関わる機会があります。年長児は、交流保育にも取り組んでいます。	園の方針としてインクルーシブ保育を目指しており、その取り組みについてわかりやすく伝えていきたいと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		園長が子ども部会に所属し、積極的に参加できるように努めています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の連絡帳や活動後の引き継ぎの際に、療育の様子や支援の内容について伝えていきます。保護者との連携のもと家庭の様子や子どもの変化をタイムリーに把握し、支援につながるよう努めています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		定期的に学習会、交流会を実施しています(子どもの発達や関わり方など)。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、クラス毎の学習会を増やしました。他にも、親の会活動、法人家族会活動もあり、よりよいつながりがあります。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		体験時や契約時に、療育で大切にしていることや活動内容、利用料等についてわかりやすく説明できるよう努めています。また、不明な点があった際にはその都度、確認・返答をするようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者と支援内容、支援計画についての説明し、共有を行う時間を設定し、保護者からの同意を得た上で支援を行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的な面談以外にも、電話や来所による相談など随時対応できるようにし、タイムリーに解決ができるよう努めています。また、月2回保健師による個別相談の時間を設けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会と連携しながら、楽しく交流したり、共に学び合う場をつくっています。法人の家族会や県の父母の会への参加もその時間子どもの保育するなど協力しています。今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、必要な対策を講じた上で実施しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れは迅速に対応できるように体制をつくっています。苦情相談窓口や体制については、契約時に説明を行い、事業所内に掲示しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、りんくのお便り発行しています。月ごとの活動内容や子どもの様子についてはクラスごとにおたよりを作成し配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		関係機関との情報交換など個人情報の取扱いについて、契約時に説明を行っています。個人情報については具体的な場面でどのように対応するかを職員間で共有を徹底できるよう努めています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		それぞれのお子さんの実態から必要な支援(具体物など視覚的な支援も含め)を行い、専門職のアドバイスも受けながら手立てを工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりましたが、法人で行う行事(フェスタなど)には、地域住民の方に参加いただいています。また、学生ボランティアや実習生等の受入れも行っていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを作成し、職員間で共有しています。また、いつでも手に取って読めるように掲示しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。また、年2回消防署立ち合いのもと隣接の保育園との合同避難訓練を年2回実施しています。今年度は、豪雨時を想定した訓練を親子で実施しました。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に服薬状況や病歴など書面で確認しています。療育中に服薬が必要な際は、保護者と飲ませ方や注意点を確認し服薬を行っています。予防接種は年2回の園内健診で確認し、てんかんや発作のあるお子さんは必要に応じて医療と連携し緊急時の対応ができるようにしています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に食物アレルギーの確認を行っています。アレルギーのあるお子さんの場合は、医師の診断に基づき、保護者と栄養士と話し合い対応しています。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝の打ち合わせ時や毎月の職員会議、療育後のミーティングの中で、ヒヤリハット事例について話し合っています。ヒヤリハット事例が発生した際は、報告書を作成し、全職員で閲覧しいつでも確認できるようファイリングしています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関する外部研修へ毎年参加し、内部研修で学びあう機会を設けています。人権についての研修も定期的に行っています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束を行うことはこれまで前例がありませんが、どのような場合に身体拘束が必要になるのかなど職員間で学習等を通して理解を深めています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。